

# すもとじょうし 洲本城址

所在地：洲本市 小路谷



模擬天守閣



「洲本のお堀」洲本市 東原正己氏撮影  
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



石垣と樹木



洲本市市民広場から眺める洲本城址

永正年間（16世紀初頭）紀州熊野水軍頭領の安宅氏が、島内八カ所の拠点の一つとして三熊山に最初に城を築きました。その後、織田信長の淡路島攻略などにより、城主が仙石秀久、脇坂安治と代わり、現在も残る石垣は、慶長14年（1609）までの24年間に脇坂時代の増改築により作られたものであるとされています。

現在の天守閣は、昭和天皇の御大典を記念し、昭和3年（1928）に建設され、模擬天守閣としては国内最古のものです。平成21年（2009）に、地域の景観形成に重要な役割を果たしている建造物として、県景観条例に基づき、景観形成重要建造物等の指定を受け、三熊山の豊かな緑の中、点景として市民に親しまれています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
  - ✓ 歴史が作りだす景観
  - 生活・文化が作りだす景観
  - 新しく作りだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線を南下し、三熊山ドライブウェイを山頂方面へ、車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図